

磐城時報

第九廿夕
支所長 磐城取締所平支所長
支所長 磐城取締所平支所長
支所長 磐城取締所平支所長

遭難の磐城炭礦 完全に復舊す

從前通り作業開始

近來にない大椿事を引き起した磐城炭礦の落盤及び出水個所の修理並に排水作業は同礦で全坑夫總動員で廿六日夜來徹夜數十時間に亘り全能力を發揮して行つた結果廿七日夕刻までには從前通りに回復し作業に從事し得る状態になり一時不安にかられたが坑夫等もこの急速な復舊工事にあつた胸を撫で下ろして廿八日早朝からは後前通りの平穩さにも歸つた。

犠牲遺族へ

弔慰金を贈る

磐城炭礦では今回の落盤出水のため犠牲者には最善の方法を以てその善後策を講ずべく協議中であるが、取敢ず金五百圓程度の弔慰金を贈る事に決定した模様である。

問題の蠶業取締所

來月一日から開所

支所長は目黒氏を任命
縣の怠慢から久しく係員を任命以下所員の任命あるはずである。せすにあつた蠶業取締所平支所が、同支所の管轄は石城郡一圓はいよ／＼十一月一日より開所として二十七日管轄區域變更をすることに決定三十一日付所長なした。

支所長 磐城取締所平支所長
支所長 磐城取締所平支所長
支所長 磐城取締所平支所長

小野君凱旋

出身小野大義君は本年二月の召久之濱町中濱山林に死後約四ヶ月を経過した年四十五六歳に於て二十七日午後三時召集解前後の男の白骨死體があるのを除され凱旋したので小名濱町で二十七日久之濱町北町自動車は勇士の歡迎に在郷軍人、青訓業木田庄一が發見四倉署に届け生、小學兒童、青年團、町有志出でたので神長部長出張検視し等多數常警線泉驛まで國旗を手たが、疑問の点があるので引續き調査中である。

鑛業權侵害告訴

石城郡赤井村仙臺炭坑主阿部金を兼ね弓道大會を開催するが出之助(四四)は同郡平窪村下平窪場者白餘名の見込みで盛會を豫渡邊健治(三〇)を二十八日平署想されてゐる。

古河礦運動會

古河炭礦運動會は十一月三日小館グランドで舉行する。

郡平窪村農會では廿八日午前九時より會員の稲作坪刈り競技會を行ひ郡農會より青山技手出張した。

山に白骨死体

好間村上好間字小館坑夫岡部直全なる下水改修を企圖し昭和五三(四五)は妻子を養つて情婦と年工費一萬餘圓をもつて五ヶ年北海道に行つたまゝ、歸宅せず、繼續事業として着手既に同町目北好間字小田郷食肉商安田熊吉貫の仲島、仲町、古港の三區は(二二)は妻子二人を残して郷里完成し續いて他區内の工事を急香川縣に行つたまゝ、戻らず、そいでるが該下水は深さ三尺、の後妻は出産し子供は間もなく市二尺のコンクリートで恒久的死亡し再三呼寄せの電報を出しなもので全區完成の頃は同町豫たが歸宅せず、上好間上野原果定事業となつてゐる、水道架設實商菅波健治(二八)は妻子を捨てて竣工する等であるから、下水は常に水道用水の分水を以て流給に送つて家出し何れも残され通せしめ、火防と衛生共用の理想的なものと言はれてゐる。

古河庭球場

古河炭礦庭球場では三十日足尾山に遠征する事となり練習中である。

古河礦公休日

古河炭礦來月中の公休日は左の如く決定した
三日、六日、十三日、二十日、二十七日、

置き忘れた大金

江名町南町海産物商星廣太郎妻に仕舞ひ忘れた現金百三十圓小切手五百八十六圓を窃取されたと平署に訴え出たので平署で調査した處前記の事情と判明した。

落磐で死亡

内郷村磐城炭礦坑夫齊藤忠五郎(三三)は

夫に捨てられて 飢に泣く三家族 附近の人々が同情

榮川「原價販賣」

田町永山酒店では從來販賣中の銘酒榮川が縣下清酒品評會に於て最優等に入賞したので宣傳の意味で目下原價提供(一升一圓二十錢)を行つてゐるが好評を博してゐる。

自稱癡兵

平窪村附近では最近大坂市帝國在郷兵相愛會と自稱し賣藥を押し賣りするものがあるので村民は非常な迷惑を蒙つてゐる。

泥酔して

内郷村田田日屋業折笠島松(二四)は二十八日同字木村某方に泥酔して亂入し暴行を働いたので家宅侵入として平署に檢舉された。

平町人事

婚姻
九品寺前松崎喜作(二五)好間村上好間字内の草松崎登代子(二二)、仲町町神奈川縣横濱市中本町町崎時藏(二七)仲町町東京市四谷區坂町横地操(二五)死亡
六間門高橋幸枝(二七)

平町失業者

半分減る
平署管内二十日現在の失業者は六百二十八名で八月同期に比すれば五百十二名を減じ約半減となつてゐるがこの内四百十九名は俸給生活者で二百九名は労働者である、これは匡教土木事業における入港船舶の激増にともなふ人口増加と、出入人馬の頻繁労働者は、就職出来る結果

小名濱下水工事

小名濱町では内務省直營事業である、小名濱築港工事完成後にあける入港船舶の激増にともなふ人口増加と、出入人馬の頻繁労働者は、就職出来る結果

古河礦公休日

古河炭礦來月中の公休日は左の如く決定した
三日、六日、十三日、二十日、二十七日、

石城労働者 有卦に入る

大小炭礦の従業員募集匡救事業の着手、それに農繁期まで種々労働者を活す事業が重なる中、石城地方の労働者は何年振りか有卦に入つたが、平職業紹介所を通じて昨今の労働者の動きを見るに去る一日から二十六日まで、の求職申込みは男女計八十六名で、之に對する求人九十五名、珍らしくも求人が多いため就職率は百パーセントといふ開所以の記録を示してゐる。

右について同所の神長倉書記は語る

匡救事業の着手から流れ労働者が當所を訪れなくなつたには一驚する、現在當所を尋ねて来る者は平町附近の労働者ばかりであるが、來月上旬から一齊に農繁期に入るからこれ半減するであらう。何れにしても來月下旬あたりは労働者を鐘や太鼓で探すやうなことになるかも知れぬ。云々

無銭飲食 小名濱町古

港土工遠藤武雄三二、は二十八日午後六時頃同町飯食店岡部エソ方で一圓の無銭飲食をなし平署に檢舉された。

搜索願一件 石城郡好

間村北好問金成千代(二七)は夫に死別してこの程嫁ぎ先から歸宅したが、親達の所を氣兼ねして去る二十三日家出したので實父丑松は二十五日平署に、また茨城縣平賀郡磯原町佐藤銀之助(四〇)は去る二十九日家出したが平地方に潜伏の形跡あるからとて實弟西松から二十五日平署に何れも搜索方願ひ出た。

縣下第一代表銘酒

銘酒
紫川
入賞

於福島縣第八回清酒品評會
最優等賞 受領！
首席優等賞

入賞御披露のため
原價特賣をいたします

紫川 一升 一・二〇

平町一丁目

白銀町石川	酒	店
材木町緑川	酒	店
鍛冶町谷口	酒	店
田町永山	酒	店

電話四八六番
電話二四六番
電話二〇七番

三河産業博覽會
昭和三十二年博覽會
金牌受賞

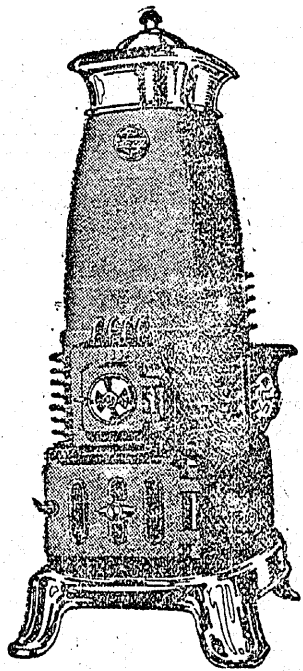
かまぼこ
折詰仕出し

お惣菜用
さつま揚
吉原揚
藤賞
電話一四一番

處方調劑
藥品一般
体温計
山野邊藥局
平町五丁目角

郷土生薬研究
和漢藥療法
東華皇漢研究所
顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生
藥劑士 山野邊東次郎

嚴冬の征服者
福祿ストーブ
戸毎に福祿

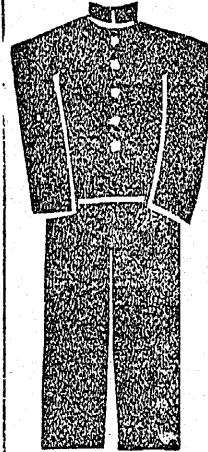


四海は常春
電話三七番へ
カタロク御申越下さい
早速持參致します
平停車場前
福祿ストーブ
福島縣一手販賣
阿部石炭店

専門
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
入院應需

かまぼこ
折詰仕出し
御惣菜用さつま揚、吉原揚
平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

學生服賣出



温かい丈夫な黒小倉通學服を豊富に取揃へ特價にて提供
小學用(長ズボン付) ¥0.85
全……特製品 ¥2.00
中學用特製品 ¥2.90

ふかや洋服店 平二電203

平町田町(電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久
新瀨醫學士 赤羽
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

内科 醫學博士 難波 睦
一般科 平町大町新川端
電話(五〇二番)